

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

<b>学校通信</b> <b>ひがしやま 第70号</b>	発行日	令和6年12月23日(月)
	発行者	別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明

## ○餅つき大会の開催について (12/19)。



田植え作業から、お世話になっている、農楽会、市農林水産課、地域の皆様からのご支援、ご協力。PTA保体部を中心とした計画、準備、当日の対応に心から感謝申し上げます。

つきあげた餅を保護者の皆さんが切り、子どもたちと一緒に丸めました。きな粉、砂糖醤油、大根おろしにまぶした、いろいろな味のお餅に、子どもたちは大喜び。給食後にも関わらず、何度もおかわりをする姿が見られました。田植え作業から始まった子どもたちの体験活動は完了しました。開会のあいさつで、「これまでの作業で、何ひとつ一人でできるものはない。だから日本人は古くから、協力しあうことを、とても大切にしてきた」と子どもたちに伝えました。

★★

## ○久住高原農業高校学校長のお話 (アンケート集約結果)

PTA 主催放課後クラブが取りまとめました。参加者29名(うち児童生徒12名)

### 【感想】

①勉強が嫌いでも、目的を持ち、一から取り組めば、いつからでも間に合うという校長の経験に勇気づけられた②生徒70人に対して、先生40人はすごいと思った③これからは農業だなと再確認した④「企業は知識を多く持っている学生よりも、他者と協力して、新しいものを作り出せる人材を求めている」という説明は、とても大切だと思った⑤夏休みでも、高校の寮があるのはありがたい⑥成果をあげている企業の社長を何人も呼び、交流を図っており、自分にあう仕事先を見つけたり、また目指すことができると思った。

### 【参加理由】

①いずれやってくる進学に向けた情報収集②どんな高校があるのか知らなかったから③農業が今後、益々重要な産業になるから④久住高原農業高校の取組が気になっていたから⑤普通科の学校説明は聞いたことはあったが、産業高校の話は聞いたことがなかったから。

### 【予告】

次回は令和7年1月22日(水)15時～16時 県立爽風館高校石井校長を予定。